



寄居ロータリークラブ 会報

YORII ROTARY CLUB

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために
手を取りあおう

R.I.会長
フランチェスコ・アレツツオ
第2570地区ガバナー
坂口 孝
第4グループガバナー補佐
橋本 和行



令和7年9月10日(水)

会場 寄居町商工会Spark

第2778回例会

司会 野村 文昭(SAA)

点鐘 下条 誠会長(12:30)

ソング それでこそロータリー

お客様

2026-2027年度派遣

地区補助金奨学候補生 新嶋 里奈様

1. 会長の時間

下条 誠さん

皆さん、こんにちは。お客様を紹介します。国際ロータリー第2570地区 2026-2027年度地区補助金奨学候補生 新嶋里奈さんです。皆様、大きな拍手をお願いします。新嶋さんには後ほど卓話をお願いしています。宜しくお願いします。新嶋さんについてお話を聞いたところ、お住まいは熊谷の新堀、籠原駅の近くということで私の居住地のお隣でした。年齢は私の上の子供の一つ下、下の子の一つ上ということで、ちょうど真ん中でした。大学の方は立命館アジア太平洋大学(APU)、場所が大分県ということです。私の子供も同じ九州の宮崎の大学なので親近感を感じ、今日は卓話をとても楽しみにしています。

さて、先週の土曜日、日曜日にロータリーの委員会等がありました。土曜日は財団の委員会がありました。後ほど吉田委員長からこの報告を簡単にしてもらいます。財団のセミナーの中で1つ気になったことがありましたので、皆様にお伝えします。財団のセミナーの中でロータリーのカード、いわゆるクレジットカードがあることを初めて知りました。このカード、オリコカードかダイナースカードなのですが、このカードでショッピングなどをすると購入額の0.3%がエンドポリオに募金されることを初めて知りましたので、もし会員の中にカードはどこのものでもよいという方がいましたら、ロータリーカードにするとカードを利用することにより自然とポリオの募金ができるのは大変良いことだと思いますので、ご紹介させていただきま。もし加入したいという方は私までご連絡ください。

続きまして、日曜日には社会奉仕委員会のセミナーがあ

りました。こちらは権田委員長と一緒に参加しました。社会奉仕委員会で気になったことは、「ヤングケアラー」と言う言葉を初めて聞きました。簡単に言いますと、中学生や高校生の子供が家族の介護をするために進学ができないとか、友達と遊んだりできないなど、場合によっては小学生でもそういったことがあるという社会問題があることを学ぶことができました。この件に関しては権田さんから後ほど簡単に説明してもらいます。

本日は新嶋さんの卓話や委員会報告もありますので、会長の時間は以上となります。本日もどうぞよろしくお願い致します。

2. 幹事報告

荻野 真仁さん

それでは幹事報告をします。まず、先週は「炉辺談話」の報告があり、各班に報告書を提出いただき、大変ありがとうございました。まずは御礼申し上げます。



続いて、先週も話しましたがゴルフが2つあります。1つは10月21日第47回秩父ロータリークラブ チャリティゴルフ大会、ザ ナショナルカントリークラブ(旧廣済堂埼玉ゴルフクラブ)です。もう一つは地区大会記念ゴルフ大会があります。10月6日、鳩山カントリークラブです。こちらにつきまして、先週申込書を回覧したのですが人数が少なかったため、先週休んだ方もいると思いますので再度申込書を回覧します。ぜひ奮って参加をお願いします。

次に前にもご案内しましたが、9月14日に開催されます5年未満の新会員セミナーについて、寄居ロータリークラブからは6名の参加ですが、年数に関わらず興味のある方は歓迎しますと連絡がありましたので、急な日程ではありますが、興味のある方は会長・幹事までご連絡をお願いします。

さらに9月27日にはRLI（ロータリー リーダーシップ研修会）については2名が参加します。2名の方、宜しくお願いします。本日の幹事報告は以上となります。ありがとうございました。

3. 委員会報告

(1) 出席推進委員会 吉野 泰久さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
9月10日	34	5	29	0	85. 29%
9月 3日の修正出席率					76. 47%

(2) 研修報告

①ロータリー財団委員会委員長 吉田昌弘さん

皆さん、こんにちは。9月6日、先週土曜日夜条会長と一緒にロータリー財団セミナーに出席しました。私自身、



ロータリーの会費からどこに寄付がいつているよということぐらいしか知らなかったのですが、セミナーに出席して、こんなところにも寄付されているということがわかり、大変勉強になりました。その中で、原島ガバナーエレクト

の話の中で、今ロータリーは変革期にきている。この財団にしても寄付を集めることが目的ではないのです。そして財団で何に使われているか、そんなことをしっかりと知っていくことが必要なのではないか。という話があり、確かにセミナーの説明を聞いて寄付がどのように使われているのかの詳細を初めて知ることができました。今日お越しいただいている新嶋里奈さんの地区補助金奨学候補生という自己紹介をいただき、こういった若く有望な方にも補助がされているということを聞き、大変良い事だと思いました。今日は会場にお越しいただいているので、たっぷり卓話をしていただき、皆さんにも楽しみにして欲しいと思います。

そしてセミナーの締めくくりとして、安齋ポリオプラス委員長の説明がありました。ポリオとは聞いたことがありますが、どのような病気なのか知りませんでした。このポリオという病気が急性灰白髄炎、日本では小児麻痺と言われ、5歳未満の子供が感染しやすいそうです。そんな子どもたちの命を救っていこうという取組を今安齋さんが委員長で頑張っています。

11月2日に3デマーチがあります。昨年も参加した人がいますが、なかなかハードで10キロくらい歩きPRするそうですので、奮って参加して欲しいと思います。

冒頭にも話しましたが「ただ寄付をされているのだ」と思うよりもどういったところに寄付をされているのかかわかると、会費がどのように使われるのか理解できると、やはりロータリーの必要性や社会貢献等がわかり、大変勉強になりました。また機会があれば参加したいと思います。以上です。ありがとうございました。

②社会奉仕・環境保全委員会 委員長 権田功さん

こんにちは。先日9月7日、国際ロータリー 第2570地区 2025-26年度 第1回社会奉仕セミナーが、国



立女性教育会館で行なわれ、下条会長と二人で参加してきました。

第1回社会奉仕セミナーということで、今回のテーマは「ヤングケアラーのために私たちができること」ということで、講師に埼玉県福祉部地域包括ケア課、地域包括ケア担当の中前千佳様をお招きし、ヤングケアラーの現状、それがどういうことか、それから私たちに何ができるのかということをお話いただきました。

簡単にその内容を紹介します。まず先ほど会長からもありましたが、ヤングケアラーとは、最近定義されました。令和2年3月に埼玉県ケアラー支援条例です。「ヤングケアラー」とは「高齢、身体上又は精神上の障害または疾病等により援助を必要とする親族、友人その他身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他援助を提供する者（ケアラー）のうち、18歳未満の者」と定義されました。令和6年6月12日にもう一つ法改正がありました。その「子ども・若者育成支援推進法」の改正により、「家族の介護その他日常生活上の家族の世話を過度に行っている」と認められる子ども・若者」と説明されているようです。こういった社会状況があるかといいますと、もうこれは単純にヤングケアラーだけではないと思いますが、高齢化。それから一世帯あたりの家族人数が少なくなっていることです。世の中での高齢化率、高齢者数も増えています。要は支援をされるような家族が増えてきていること。今までは大家族の中で世話をしていたりして、家族で分散していた支援が、家族単位が小さくなることで、共稼ぎ率が非常に高くなっていますので、子供たちに負担がいつてしまっているという現状があるので、ヤングケアラーの問題が増えてきたのではないかという話がありました。

また、ヤングケアラーとは18歳未満で、その後はいいのかということではないようで、基本的には18歳未満の時に、学校に行けなかったり、進学を諦めたり、そういうことによって30歳未満を中心として、社会でうまく生活できない人たちが多くいるそうです。それが実際には40歳ぐらいまでの方も対象としてヤングケアラーと考えたいとなっているそうです。ただ私は思うのですが、皆さんもニュースでみたりすると思いますが、老々介護もある意味では同じようなことですよ。結婚できないで50、60になった息子が、年を取った父親や母親だとかを介護する。それで会社を辞めなくてはいけなくなったり、いろいろと相談できなくなって、孤立し、いろいろ起こるというようなこともあるのではないかと、私は話を聞きながら思いました。

家で若い子たちが家族の世話をしたりしているのがヤングケアラーなのですが、特に問題なのが、ヤングケアラ

一の子どもたち全てに支援が必要なわけではないということらしいです。要は、特にその中でも厳しい子たち、先ほど言ったように学校に行けなかったり、進学できなかったり、そういう子たちに特にケアしなければいけないのではないか。ではケアとはどういうことかという、なかなか難しいのですが、私たちにできることという、そういう子どもを見た時にその家に行って我々が何か支援できるのかと考えた時に、なかなか難しい。だから行政の福祉や、そういう子どもに対応している教育関係や支援している場とか、子ども食堂とか、支援センターなどに繋いでほしいそうです。私たち大人が「信頼できる大人」になって、直接子どもたちの話を聞いたり、その困っている人たちの話を聞ける社会人になる。そして、もしおかしいな、変だなと思ったならば、それを社会に繋げる。そういう大人になるということが、望まれた形のような話がありました。

難しいのが、ヤングケアラーは子ども個人ですが、子どもの支援ではなく、当然その家族全体を支援していかなければならないので、何しろ行政や民間のいろいろな支援団体と組んで子たちを支援していくという話しでした。

最後に「ロータリアンの私たちは何をしたらいいか。具体的に聞かせてください。」と質問しました。結局、信頼できる、相談できる大人になってください、ということのようです。その時私自身が思ったのは、こういう場で何でもいから、「こういうことをやってくれる人が欲しい」「これが欲しい」という具体的なことを言ってくれたら、あとは我々ロータリアンが自分たちのクラブに戻って、相談できるようなことになればいいと思いましたが、そういう話しはありませんでした。

まとめますと、やはり個人だけではできないので、我々の住む社会が、個人と家庭と社会と地域で協力し合って、みんなで助け合うコミュニティを作っていくことが大事なのではないでしょうか。以上です。

(3) ニコニコボックス委員会	吉田 昌弘さん
下条 誠さん	新嶋里奈さん、 本日の卓話を楽しみにしていました。 よろしくお願いします。
荻野 真仁さん	寄居小学校の「荻野商店文庫」に今月 約100冊新刊を贈呈いたしました。
松本 幸男さん	諸事情あり、初めての2回連続の欠席 となりました。久しぶりのロータリ ー、楽しみます。 新嶋様、本日の卓話、大変楽しみにして おりました。よろしくお願いいたします ます。 多めにいただきました
荻野 幸一さん	新嶋里奈さん、 卓話宜しくお願いします。
吉野 泰久さん	津久井さん、押田さん、7/20にいた だいた「朝顔」が未だ咲いています。

でも不思議なのは、あんなに沢山咲いても「種」がひとつもできません。

(今流行りの種なしかな)

佐橋 正行さん	新嶋里奈さん、寄居RCへようこそ。
小宮 俊光さん	新嶋里奈さん、ようこそ寄居RCへ。 楽しくて、ためになる卓話楽しみです！ 宜しくお願いします。
山口 正彦さん	新嶋さん、 本日の卓話楽しみにしています。
柴崎 正さん	新嶋里奈さん、ようこそ。 卓話、宜しくお願いします。
清水 浩一さん	新嶋里奈様、寄居RCへようこそ！ 卓話楽しみです。
加藤 祐司さん	新嶋里奈さん、ようこそ寄居RCへ。 本日の卓話、楽しみにしております。
安齋治一郎さん	新嶋里奈さん、ロータリーと留学の 事、たっぷり話して下さい。
赤坂 匠康さん	新嶋里奈さん、本日の卓話楽しみです。 よろしくお願いします。
松本 則之さん	伯母が94歳で亡くなりました。日記 の最後に「楽しかった」と書いてあつ たそうです。私も伯母を見習って楽し い人生を送りたいです。
松本 則之さん	新嶋さん、卓話よろしくお願いま す。ただ残念ながら、本日早退します ので、後で会報を読ませていただきま す。
橋本 則彦さん	残暑もあと少しですかね。 本日もよろしくお願いします。
森田 淳一さん	本日、子どもの学校の監査会なので、 早退させていただきます。 申し訳ございません。
小鮒 哲夫さん	新嶋里奈さん、ようこそ寄居RCへ。 本日はよろしくお願いします。
高田 徹さん	新嶋さん、ようこそ寄居RCへ！ 本日はよろしくお願いいたします！
権田 功さん	新嶋里奈様、本日はありがとうございます。 よろしくお願い致します。
高倉 隆綱さん	新嶋里奈さん、ようこそ寄居RCへ！ 本日はよろしくお願いいたします！
豊田 康業さん	新嶋さん、ようこそお越しくださいま した。卓話楽しみにしております。 本日もよろしくお願いします。
豊田 康業さん	9/13、9/20 8:30～ FM仙台の番組に出演します。ラジコで 聞けますので、お時間のある方、よろ しくお願いします。
野村 文昭さん	本日は司会という事で緊張しておりま す。どうぞ宜しくお願いします。
押田 大助さん	新嶋里奈様、本日は卓話楽しみにして

おります。

- 清水雄一郎さん 新嶋さん、卓話楽しみにしています。
昨日、健康診断に行ってきました。身長がこの年で189.5cmで1.5cmも伸びました。(笑)
- 石井 彩子さん 本日の卓話、楽しみにしております。
よろしくお願い致します。
- 野村 文昭さん 前回欠席のため。
- 吉田 昌弘さん 新嶋里奈さん、
本日の卓話を楽しみにしております。
どうぞよろしくお願い致します。

ロータリー財団委員会 ポリオプラス委員会

委員長 安齋 治一郎さん

準備している間に少しお話しします。地区補助金奨学候補生です。財団の方で皆さんから集まったお金を3年間投資等し、3年前のお金を今年度使うことになっています。3年前ですから村田年度で集めたお金を今年を使うということになります。その中で、DDF（地区活動資金）とWF（国債の使う金）と分けています。今回新嶋さんは地区補助金奨学生ということですので、地区補助金の方からお金が出ています。また、WH（グローバル補助金）でも今年2570地区は2人います。この2つに違いはそんなにないのですが、大きな違いとすると地区補助金は留学がほしい1年、グローバルがほしい2年のケースが多いです。

新嶋さんはロータリーと高校生ぐらいから繋がりがあるようですので、話を始めさせていただきます。では、よろしくお願い致します。

卓話

2026-2027年度派遣

地区補助金奨学候補生 新嶋 里奈様

皆様、こんにちは。この度、本庄ロータリークラブ様スポンサーのもと、そして本庄ロータリークラブの間正良昭様カウンセラーのもと、地区補助金奨学候補生となりました新嶋里奈です。

本日、皆様お忙しい中時間を取っていただきありがとうございます。また、この度このような奨学生という素晴らしい機会をいただけたことに感謝しています。本日初めて卓話をするので、少し緊張しているのですが、最後まで頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

本日は私の簡単なプロフィールの後に、今の大学での生活や、将来の目標、今後1年間の留学で行いたいことについて話します。

改めまして新嶋里奈です。埼玉県熊谷市出身で、現在21歳です。大学が大部分県別府市にある、立命館アジア太平

洋大学国際経営学部で2年生です。そして、この度2570地区 地区補助金奨学生になりました。

簡単にですが、私の趣味を紹介します。趣味は語学の勉強、カフェやご飯屋さんに行くこと、旅行に行くことです。特に幼い頃から語学を勉強することがとても好きで、現在は英語と中国語を話すことができます。経歴については、2004年に熊谷市で生まれ、その後大妻嵐山中学校、高等学校に入学し、6年間在籍していました。その後、2022年に台湾に留学をしました。その後今の大学に入学し、国際交流をしながらビジネスについて学んでいます。

私には長所が3つあるので紹介します。一つ目がポジティブであることです。何事にも前向きで、元気で、普段から何事にも常に恐れず、ポジティブに考えるようにしています。幼稚園から高校まで一回も学校を休んだこともなく、とても元気です。

二つ目は行動力があり、チャレンジ精神があるということです。私の好きな言葉で「やらない後悔よりやる後悔。」という言葉があります。この言葉のように後悔する前に何でもチャレンジをするようにしています。

最後に周囲を巻き込む力があるということです。小学生の頃から色々な活動に取り組んできて、様々な団体でリーダーを務めてきました。現在でもサークルや、学生団体など幅広い団体でリーダーを務めています。

次に、大学での生活について話していきたいと思います。私は国際経営学部には所属しています。私が所属している国際経営学部には国際認証が付いていて、この国際認証は日本ではまだ3校ぐらいしか取得していないものです。この国際認証を取得しているということが、世界でも通用するビジネススクールであるということを表しています。大学では国際認証がついている学部で、経営学をはじめとするマーケティングや経済学、アントレプレナーシップ、会計統計、金融論などを学んでいます。



この写真は、先日、私が取っている授業の教授と一緒に遊園地に行って、その遊園地の利益を上げるためにどんなことができるのかをテーマに研究をした時のものになります。2つ目が語学ということで、現在英語と中国を話すことができます。私の大学は生徒の半分以上が留学生で少し特殊な大学になっています。ですので、キャンパスも

日本語だけでなく、英語が公用語と定められています。普段の生活から英語を話すことが当たり前で、他にも中国人も百何人在籍しているので、中国語も話すことができます。

学校では他にも6言語、中国語、韓国語、マレー語、インドネシア語、スペイン語、ベトナム語を学ぶことができ、普通に開講されている授業でも英語の開講率が99%なので、普段は英語で開講されている授業を履修していることもあります。生徒だけではなく、教授の半分も外国国籍の方で、約100ヶ国以上の国から来ています。ですから、普段日本で大学生活を送っているのですが、山の上の一角で留学をしているような感覚を得ながら日々学んでいます。

また学校ではリーダーシップとか平和学、貧困など幅広い学問を学ぶことができます。リーダーシップについて学べる授業があったり、他にも平和学とか貧困について深く学ぶことができたり、グローバル化している世の中での問題について深く学ぶことができる授業を多く履修しています。

私が大学や大学外で今取り組んでいることをまとめてみました。GASS（ガス）、FLAG（フラッグ）、マレーシアウィークが大学で今取り組んでいるものになります。GASSは、オープンキャンパスの運営、企画している団体です。中学生の頃からオープンキャンパスを運営する団体に所属していた影響で、大学でもそのような学生団体に所属し、オフィスの方や、大学の大人の方々と一緒に手を組みながらオープンキャンパスの企画、運営をしています。部署のサブリーダーを務めているのですが、私の部署は受付部署です。部署の半分も外国の方がいらした時のために外国人になっています。サブリーダーとして指示をすることも多いのですが、普段から英語を使いながらミーティング等を行っています。



FLAGは、新入生のサポートする学生団体です。この団体ではリーダーを務めています。上の赤い写真になりますが、10か国以上の外国人のメンバーがいて、宗教の信仰が違ったり、生活習慣も全く違っていて、活動していく中でも大変な部分も結構多いのですが、とても学びになっ

ています。



私の大学ではウィークというものが存在します。例えば、1週間、今週がチャイニーズウィークだったら、大学が中国について知ろうということで、中国の国旗が飾られたり、学食のメニューに中国料理が出たり、グランドショーやパレードが行われたりする、そういうウィークが存在します。私はマレーシアウィークに所属をしていて、もちろんマレーシアウィークなのでマレーシア人しか所属していませんが、現在日本人一人で所属しているのですが、マレーシア人は中国語とか英語を話す人種であるので、普段から中国語と英語を忘れないために、こういった活動をしなが今は副代表として活動しています。

次に大学外での活動です。住んでいる熊谷市でやっているものなのですが、お囃子会に所属しています。私は籠原に住んでいるのですが、籠原祭りに毎年小学生の頃から参加しています。生まれ育った地域を盛り上げていきたいという思いから参加していて、今日のスライドの最初の写真も、今年の夏に巫女さんをやった時のものになります。



最後にROTEX（ローテックス）です。私は青少年交換プログラムというロータリーの制度で高校3年時に留学をしたことがあり、現在は2570地区のROTEXとして活動しています。ROTEXでは、留学生や候補生のお世話をしたり、アウトリーチという、次に海外に留学する候補生のためにメール等を送って派遣国を決めるのですが、そのメールチームのリーダーをしています。そこではビジネス英語などを使う機会がとて多く、大変勉強になります。

私が、なぜまた留学に行きたいと思ったのか、そしてロータリーの制度を再度使いたいと思ったのかについて話します。

高校3年生の時ですから2022年—2023年にかけて、東松山武蔵ロータリークラブ様スポンサーの下、台

湾の台北の第3523地区、ホストクラブが南華ロータリークラブというところに、留学をしていました。その時も、ロータリーの制度を使って留学をしていました。また、父が銀行員で、普段から多くのロータリアンの方と関わる機会があり、私が所属していた大妻嵐山高校で毎年2、3人留学に行っていたというきっかけもあり、ロータリーの制度を知りました。



他にも、妹も本庄ロータリークラブ様のもとでチェコに留学をしました。このようなことを通して財団の留学の制度を知り応募しました。この交換プログラムでは約10ヶ月留学をして、5つくらいボランティア活動にも参加しました。このボランティア活動に参加したことで、私の夢や、将来の目標が深くなり、方向性が決まり、自分が学びたい専攻分野が明確になりました。また、私の将来の目標というのが、ロータリークラブが今後解決していきたいと掲げている重点分野と重なり、深く共感するものがあったので、またロータリークラブの制度で留学をしたいと考えようになりました。

高校の時に留学をして感じたことは、他の留学制度とは違い、ロータリークラブならではの交流というのが盛んであり、ロータリークラブならではのこの交流を活かしながら、今度はアカデミックなことを深く学んでみたいと思い、

今回志望しました。

私の現在の将来の目標は二つあります。一つ目が「貧困解決」で、もう一つが「平和な世界の実現、紛争防止」ということです。こういった二つの社会問題を、今私が大学で学んでいるビジネスの力を用いて解決をしていきたいと考えています。

私の人生の目標一つ目、ビジネスを通して貧困など困っている人を助けること。そして、貧困が原因で教育を十分に受けられない子どもたちが、将来を自由に選択できる世界になってほしいと考えています。私がこのように思うようになったきっかけが高校3年生の時の留学で、ロータリークラブの方が、「一緒に行こう」と誘ってくれた児童養護施設への訪問でした。そこで、貧困の子どもたちと交流をする機会があり、貧困の子どもたちが学校に行けてない現状はもちろん、学校に行けていないことに対してどう思っているのか、その子達がどんなことを学んでいきたいのかを深く知る機会になりました。また、私が簡単な日本語を教えたことで、日本語をはじめとする語学を学ぶ楽しさというのを知ってもらい、その姿を見たことで将来このような子どもたちの助けになりたいと思うようになりました。

ここで、貧困について現状を説明します。貧困というのは「絶対的貧困」と「相対的貧困」という二つに分かれていることをご存知でしょうか。

まず「絶対的貧困」ですが、国や生活のレベルとは無関係に、生きる上で必要最低限の生活水準が満たされていない状態のことで、よく皆さんが貧困と聞いてイメージするのがこの絶対的貧困に当たります。これにあたる人々は、衣食住を含めて1日に2.15ドルで暮らしているという状態なのですが、2.15ドルで生活することがどのような状態になるのか、あまり想像ができないと思うので写真を持ってきました。このような状態で暮らしている人が1日に2.15ドルで生活をしている人たちになります。



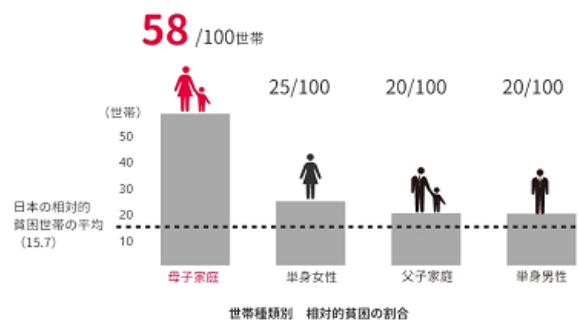
2つ目が「相対的貧困」ですが、これはある国や地域の生活水準の中で比較した時に、大多数よりも貧しい状態のことを言います。世帯の所得がその国の所得の中央値の半分に満たない状態のことを指しています。比較になるのですが、「絶対的貧困」というのは生きていけるかどうかにか

直結する基準になっていて、例としてはコンゴ民主共和国とかマラウイとか、あとアフリカとかインドとかが当たります。

「相対的貧困」としては先進国が中心になっていて、日本も相対的貧困率が約15%、7人に1人相対的貧困に当たると言われています。また、アメリカでもまだ相対的貧困率は日本よりも高く、医療費が特に高いので、低所得層の人は生活に大きな負担を抱えているそうです。

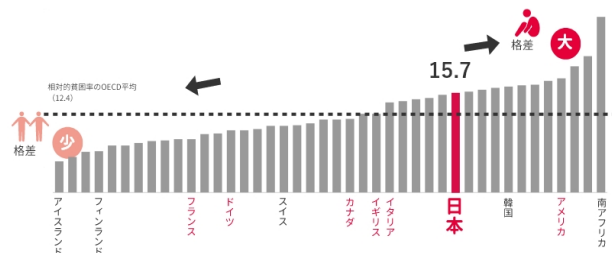
では、皆さんに質問です。貧困の子供たちは世界に今、どのくらいいると思いますか？

《世帯種類別 相対的貧困の割合》



日本ではこのグラフからわかるように、特に母子家庭ではまだ半数以上の子供が貧困状態にあると言われています。日本は世界から見ると、裕福な国であるとか先進国であるというイメージがあると思うのですが、その状況の裏にはまだまだ貧困で困っている子供たちが多くいます。日本は相対的貧困国に値するのですが、他のこのような国々と比較した時に、まだアフリカ側に近く、相対的貧困の人の数も多く、裕福な人と貧困な人の格差が大きいというのが現状です。

《貧困の子どもたちの数 日本》

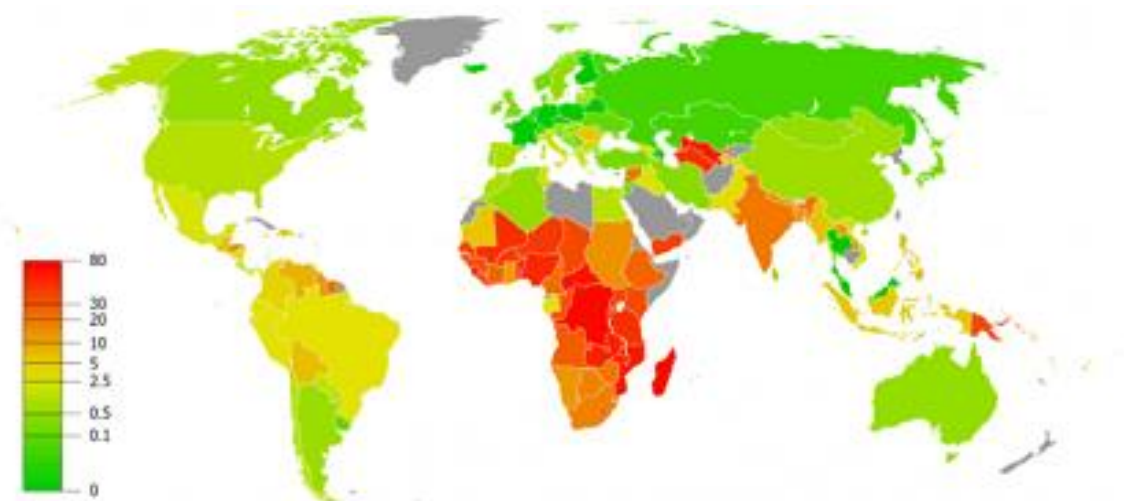


次に「絶対的貧困」ですが、下のような地図を持ってきたのですが、赤に近ければ近いほど貧困の人が多くと言われています。これを見ると、アフリカだけではなくて、南米とかインドとかではまだまだ絶対的貧困の国も存在しています。貧困という一つの問題が犯罪を引き起こすことで、治安が悪くなったりとか、十分な医療を受けられないから疫病にかかる人が増えたりとか、様々な問題も同時に引き起こしています。

日本では、相対的貧困が原因で教育を受けられない子供たちというのはまだまだたくさんいるため、そういう子供たちを一人でも多く減らしていきたいと今は考えています。また、そういったことを踏まえた上で、私は大学の方でも大分にある児童養護施設や子ども食堂を訪問し、無料で英会話を教えたり、基礎的な国語や数学を教えたり、私が留学で学んできたことや異文化を通して学んだことを少しでも伝えることで、子供たちの助けになると考えているので、現在は大学の方でボランティアをしています。

また、絶対的貧困にあたる子供たちというのは、まだ世界にたくさんいて、彼らは私たちから想像することもできないような生活を送り、毎日生きるのに必死な状態であると思います。そういった子供たちも、本当に一人でも減らしたいという思いもそうなのですが、私たちのような経済的に裕福な国が1円でも多く支援をしてあげること、そういった子供たちの未来が1日でも延びたり、明るくなることをしてほしいと思います。私はそういった子供たちのために、自分から進んで将来支援をしていきたいと考えています。

では、他にこの貧困を救うことでどんなことにつながると考えますか？貧困が減るとことは、犯罪が減り、治安が良くなり、紛争がなくなり、そういったことがなくなった上で、私は世界平和につながるのではないかと考えています。



会長 下条 誠さん

新嶋さん、初めての卓話と聞いていましたが、非常に完成度が高く感心しました。いろいろと聞かせていただいてロータリーの地区活動にも参加し、私の居住地区周辺でのお祭りに参加されているということですので、来年のお祭りはぜひ見に行きます。本日は本当にありがとうございました。

点鐘 会長 下条 誠さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ
E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2025. 9. 10

会 長 下条 誠

会報・雑誌委員長 加藤 祐司

N o . 7

幹 事 荻野 真仁

副委員長 森田 淳一

・例会日時 毎週（水）12:30～13:30

・例 会 場 Spark（寄居町商工会）

・住 所 寄居町寄居1228

・TEL 048（581）2468

・FAX 048（581）3530